国際化学肥料ニュース（2011 年 9 月）

肥料業界の 2011 年 9 月動態

＊ 9 月上旬中国北京に開催された「IFA 中国フォーラム」において、IFA の Michel Prudhomme 氏は次の調査結果を公表した。2010～2015 年、全世界で新たに 67 セットのアンモニア装置（中国が 22 セット）が完成し、生産能力は 2010 年現在の 1.84 億トンから 2.29 億トンに増加する。また、新たに 60 セットの尿素生産設備（中国が 17 セット）が完成し、生産能力が 2010 年現在の 1.84 億トンから 2.24 億トンに増加する。これに伴い、生産量は窒素換算（以下同）で 1.3 億トンから 1.57 億トン、需要量は 1.27 億トンから 1.41 億トン、供給過剰量が 2010 年現在の 380 万トンから 1500 万トンに増加し、完全に買い手市場になると予測した。

一方、りん酸肥料については、2015 年にりん鉱石採掘量が 2.57 億トン、2010 年より 26%増、りん酸（P2O5 換算）生産量が 4780 万トン、需要量が 4500 万トン、供給余裕量が 280 万トン。主な原因は 2010～2015 年に 11 ヶ国に約 40 セットのりん安肥料生産設備が完成し、DAP 生産量が 4200 万トンに達するが、需要量も 3900 万トンに増大し、供給面では若干の余裕が出る可能性がある。

＊ カタールに開催された第 2 回湾岸石油化学と化学製品協会（GPCA）会議に、湾岸諸国の化学肥料（アンモニアと尿素、DAP）の生産能力が大幅増強し、2015 年には 4500 万トンに達し、2010 年より 61%増加する見通しと報告された。また、湾岸諸国の化学肥料輸出拡大の動きには 2 つの問題あり、一つは世界経済の回復が遅く、化学肥料、特に尿素の需要が頭打ち、もう一つは化学肥料の輸出に外国の関税など障害が多く、順調に進んでいない事情も報告された。

＊ アメリカ地質調査局が最新の調査統計によれば、世界のりん酸塩鉱石の経済採掘可能埋蔵量 180 億トン、基礎採掘可能埋蔵量 500 億トンと推定された。（経済採掘可能埋蔵量とは採掘コスト＜35 ドル／トン、基礎採掘可能埋蔵量とは採掘コスト＜100 ドル／トンのりん鉱石）。世界 60 ヶ国にりん酸塩鉱山が発見されたが、モロッコ、アメリカ、南アフリカ、ヨルダンと中国の５ヶ国に採掘可能埋蔵量の 80%以上が集中している。基礎採掘可能埋蔵量は１位がモロッコ、２位が中国、３位がアメリカである。現在約 30 ヶ国がりん鉱石を採掘して、採掘量が 1.38 億トン。2004 年のデータでは、りん鉱石採掘量はアメリカ 3532.8 万トン、モロッコ 2667.5 万トン、中国 2617.4 万トン、ロシア 1134.6 万トンであった。

＊ 加里肥料の緊迫状況が改善されていないと先日カナダ Potash Corp の CEO David Delaney 氏が述べた。2011 年世界の塩化加里生産量が 6100 万トンと予測しているが、

いろんな影響で、達成できないではないかと強調した。なお、同氏は 2012 年の塩化加里最大供給量が 6300～6400 万トンと見ている。これにより、第 4 四半期に一層の値上げ可能性が予想される。

＊ BHP Billiton の CEO　Marius Kloppers は、カナダ Potash Corp の買収が失敗に終わったが、会社が引き続き銅鉱山、エネルギー、加里鉱山の M&A に努力すると述べた。9 月に BHP はカナダの Anglo Potash 社を約 3 億ドルで買収した。その買収により、Anglo Potash 社が有するカナダ Saskatchewan 州西部にある加里鉱山の 40 年探鉱権を入手した。

一方、もう一つの鉱業大手ブラジルのヴァーレ社も化学肥料に力を入れている。現在、ヴァーレ社はアフリカモザンビーク東北部にあるりん鉱山に興味を持ち、モザンビーク政府と共同で開発する協議を行っている。また、ヴァーレ社はアフリカに石炭の開発を準備している。

＊ インド政府化学工業省長官 Srikant Jena 氏はインドの国産尿素生産量が 2011 年 2188 万トン、2012 年 2230 万トンと計画することを公表した。2012 年の尿素需要量が 2850 万トン、不足分は輸入に賄い、輸入量が 620 万トンの予定とも述べた。尿素国際価格の高騰を受け、輸入量を減らすため、インド政府は FCIL 社と HCIL 社の閉鎖された 6 ヶ所の尿素生産装置を再開させる決定をした。

＊ インドが DAP の価格高騰を見込んで、相次いで DAP の長期輸入契約をした。北米の Phoschem 社はインド輸入業者との間に 3 年間のりん酸肥料輸入契約を締結した。2012 年 3 月までの半年中に、Phoschem 社は CIF677 ドル／トンで 100 万トン DAP を供給し、その後の数量と価格が再協議する。8 月にインドの DAP 生産量 40 万トン、昨年 8 月より 64%増、4～8 月生産量 164.4 万トン、昨年同期より 30%増。輸入量は 4～8 月 187.8 万トン、8 月だけで 86.2 万トンであった。

＊ ベトナム新聞報道によると、今年 11 月末に Ninh Pinh 県にある尿素工場が計画通りに完成し、生産開始。生産能力は 80 万トン／年。それにより 2012 年尿素生産量が国内需要量を満足できる。ベトナムの尿素需要量は年間 150～160 万トン、現在国内生産量が 95 万トン、不足分は主に中国からの輸入で賄う。

＊ アメリカ肥料研究所（TFI）から公表されたアメリカ最新のりん安生産、輸出データによれば、アメリカ 8 月の DAP 輸出量が 25.3 万トン、昨年同期より 39.6%減、輸出先はインド 10.2 万トン、日本 3.3 万トン、アルゼンチン 2.7 万トン、ペルー2.2 万トン。今年 1～8 月 DAP 輸出量が 223 万トン、最大の輸出先はインドの 109 万トンであった。

一方、MAP の 8 月輸出量 31 万トン、昨年同期より 66.8%増、主な輸出先はカナダ 14.7 万トン、ブラジル 10.3 万トン、アルゼンチン 2.5 万トン。今年 1～8 月 MAP 輸出量 150.6 万トン、主な輸出先はカナダ 47.6 万トン、ブラジル 41.9 万トン、アルゼンチン 18 万トン、オーストラリア 17.1 万トンであった。

生産、販売（輸出を含む）、8 月末の在庫量では、8 月の DAP 生産量 53.9 万トン、昨年同期より 12%減、販売 46.7 万トン、在庫 55.7 万トン。一方、8 月の MAP 生産量 46.5 万トン、昨年同期より 16%増、販売 60.9 万トン、在庫 23.4 万トンであった。

大手各社の営業業績

＊ エジプト OCI 社は第 2 四半期の業績を公表した。粗利 3.61 億ドル、純利益 1.65 億ドル。その中、化学肥料部門は窒素肥料（主に尿素）の販売量が 117 万トン、粗利 2.48 億ドル、全社粗利の 68.7%を稼ぎ出した。

OCI 社はアルジェリアにある Sorfert Algeria アンモニアと尿素工場の建設が順調に進行し、今年末から生産開始の見通し。完成すれば、年間 80 万トンアンモニアと 120 万トン尿素が生産できる。また、オランダにある硝酸アンモニア石灰肥料工場の増設工事も順調に進み、2012 年上半期に完成し、生産開始予定。一方、今年 5 月にアメリカ Eastman 社の 51%株式を買収し、傘下に収め、そのアンモニアとメタノール生産ラインは今年末と来年第 2 四半期に完成し、年間 25 万トンアンモニアと 75 万トンメタノールの生産能力がプラスになる。OCI の子会社エジプト化学肥料（EFC）の尿素増産問題も解決し、来年から尿素の生産能力が 25 万トン増加し、155 万トンになる。

＊ イスラエル ICL 社は 2011 年第 2 四半期の業績を公表した。純利益 1.19 億ドル、昨年より 44%増。

肥料プラント新規建設

＊ 9 月 28 日、中国政府系企業中成輸入輸出有限公司はバングラデシュ政府化学工業委員会（BCIC）との間にバングラデシュの Shahjalal 化学肥料工場の建設に関する契約を締結した。当該肥料工場は投資額約 6 億ドル、中国からの援助で建設する予定。当該工場については、2009 年にすでに計画されたが、まだ着工の見通しが立っていない。

＊ 中国河南省に世界最大規模のアンモニア、尿素工場の建設が進んでいる。河南省開封市に建設中の晋開グループの化学肥料工場は粉石炭を原料として、年間生産能力がアンモニア 120 万トン、尿素 120 万トン、硝酸 81 万トン、硝安 60 万トン、硝安ベースの化成肥料 60 万トンと計画している。2013 年完成予定。

＊ インドの施設栽培面積が急速な拡大を受け、イスラエル ICL 社はインドの合弁相手

Zuari 社と共同でインドに溶液栽培用肥料工場 2 ヶ所を建設する。

その他

＊ モロッコ OCP 社は今年下半期に 2.44 億ドルの社債を発行し、リン鉱石の採掘と新規りん安工場の建設資金とする。OCP は 2015 年までにりん鉱石の採掘能力を 3000 万トン／年から 5000 万トン／年、選鉱能力を 900 万トン／年から 3800 万トン／年、4 軒の DAP 工場と 1 軒の MAP 工場を新設すると計画している。これらのりん安新工場は 2013 年 7 月～2015 年 7 月に完成し、DAP と MAP の生産能力を現在の 300 万トン／年から 900 万トン／年にする。

＊ 9 月 28 日、ドイツの BASF 社は所有の化学肥料部門の一部をロシアの EuroChem 社に売却する。売却されたのはベルギーの Antwerp 化学肥料工場およびフランスとの合弁会社 PEC-Rhin 社の所有 50%株式、売却金額は 7 億ユーロ（約 9.47 億ドル）。但し、ドイツ国内の Ludwigshafen 化学肥料工場を引き続き所有する。

＊ ウズベキスタンからの発表によれば、9 月 21 日中国輸出輸入銀行がウズベキスタン工業建設銀行に 1.105 億ドルの借款を提供する契約を締結した。この借款はウズベキスタン南部の塩化加里工場の第 2 期工事の建設資金に充て、返済期限 20 年。当該塩化加里工場の第 1 期工事は中国の借款で 2007 年 7 月に着工、2010 年 10 月完成、年間 20 万トン塩化加里を生産する。第 2 期工事は生産能力 40 万トン／年、2015 年完成予定。完成後、年間 35 万トンの塩化加里を中国に輸出し、その代金を借款に返済する仕組み。

＊ イラク政府は国内燐鉱資源の開発に積極的に外資を導入する方針。アメリカ地質調査局（USGS）の調査データによれば、イラクには豊富な燐鉱石埋蔵量があり、その Akashat 地域にある 4 つのりん鉱山には 57.5 億トンの埋蔵量が確認された。イラク政府は外資を導入して、Akashat をりん安生産基地として建設し、生産された製品をアジアに輸出する計画。